

**陳情第 84 号 調布駅前北側広場に、速やかに樹木を植えるよう要請する陳情
元気派市民の会は趣旨採択を求めます。**

本陳情は、樹木の視点から、調布駅北側広場の工事について市の「整備スケジュール」が31年のラグビーワールドカップまでにロータリーの完成が予定され、その後、外構工事は35年度までのいずれかの時、整えられると知ったことに始まります。調布駅前広場の工事が進むにつれてロータリーが主に南側に大きく膨らんだことで以前よりもかなり巨大だと実感する中で、ここに樹木がなく、樹木は平成33年から35年の間に配置するとのことを知り、樹木がなければ夏の日差しを遮るものがないことなど様々な樹木の恩恵を例示し、心を癒やしてくれる「緑の樹木」があれば、とは誰もが望むことではないかとして、北口側にも樹木をと求め、南口にあった既存樹木は具体的に例示して北口への移植を求めましたが、南側樹木の全体像がまだ決まらないので一部の移植はできないとなった経緯を示す中で、北口ロータリーと歩道部分にラグビーワールドカップのH31年初めごろまでに新たに植えることや、移植も含めて樹木を植え植栽を整えること。また、北側広場の植栽の位置や樹種については、市民と協議の場をつくるよう求めた陳情です。

現在、すでに工事が進められている中で、南口広場における樹木に関する様々な経緯を見てきた市民として、市民に愛されてきた緑豊かな市民広場を北側広場もラグビーワールドカップ、オリンピックパラリンピック会場の玄関口となる事からも、樹木なしの広場であってはならないとの思いから提出された陳情であり、その趣旨は十分理解できるものです。審議を継続する間にも工事は進んでいきます。その点を配慮すれば、工事を進めていく中で、これ以上継続しては、その趣旨を活かす機会を失う恐れもあることから、北側広場については、現在も樹木が少ない現状からも可能な限り広場内での移植を追求、実現に向けた努力を求めること。また、これから北側広場の植栽等については、市も参加と協働で進めていくとの話が議場でも繰り返し答弁されてきた事からも、より多くの市民が調布市民にとってシンボリックな空間である広場のこれからを含め、実践的に実現させていく「対話」による参加と協働への取組を強く求める立場からも、今陳情については趣旨採択を求めるものです。